

わたしの望遠郷

福岡県北九州市

ふるさとを紹介



◆人口は九州第2位の都市
北九州市は福岡県の北部に位置します。人口は九州の都市では福岡市に次ぐ第2位。私がいた頃は、100万人を超えていました。都会のイメージがあるかもしれませんが、実際は海と山に囲まれて自然豊か。子どもの頃は市内を流れる川で泳いだり、魚を捕まえたりして遊びました。

◆言葉の違いにビックリ
北九州では、親しい仲間同士

で相手を呼ぶ時に「きさん(貴様が訛った言葉)」という言葉を使います。安城の友達にこの言葉を使ったとき、乱暴な呼び方と勘違いされ、喧嘩になりそうになったことも。安城に来て間もない頃は、言葉の違いに戸惑いました。

◆ぬか味噌は家庭の味

食べ物にぬか味噌が有名です。ぬか床のある家庭が多く、私も母の手作りのぬか漬を毎日食べていました。鰯や鯖などの青魚にぬか味噌を加えて煮る「ぬか味噌炊き」も有名。甘辛の味付けは、ごはんとの相性抜群です。

◆夏を彩る太鼓の音色

夏の風物詩は、小倉祇園太鼓。山車に据え付けられた太鼓を若衆が打ち鳴らし、お囃子が街中に響き渡ります。子どもの頃は、勇壮な若衆に憧れました。今でも夏になると、太鼓の音色とともに、ふるさとを思い出します。

川端剛士さん(古井町)



小倉祇園太鼓(出典：北九州市 時と風の博物館)

ほっとタイ夢

「職業は農家兼クリエイター」

高岸 誠さん(榎前町)

皆さんの夢や生きがい、ほっとする話を紹介します

「やこうを、かこう。田んぼアート2015」「コメが育って、ユメになる。」「時給生活から抜け出したい若者に、自給生活はどうだろう。」こんな印象的なキャッチコピーをのせた農業関連のポスターが、市内で多くの人を惹きつけています。作り手は、農業を営みながらクリエイターとしても活躍する高岸誠さん。



◆念願のコピーライターに
実家は農家。大学卒業後、東京の広告代理店に就職しました。毎日100本のキャッチコピーを書いた下積み時代を経て、いくつもの大手企業の広告を手がけ

るように。順調なコピーライター生活を送っていた就職6年目の夏、安城にふらりと帰省したのが転機となりました。

◆農家への転身

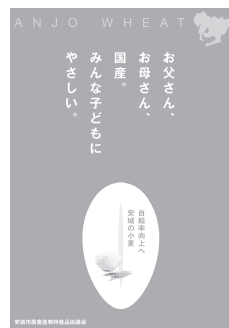
帰省中、突然祖父から農業を止めると告げられました。幼い頃から農作業を手伝っていて農業には愛着があったし、コピーライターの仕事は東京でなくともできる。自分が農家を継ぐと即断し、その半年後には安城で農業を始めていました。

◆安城の農業の魅力を伝えたい

今は農作業と広告制作の仕事に加え、田んぼアート実行委員会や市農畜産物特産品協議会で、安城の農業を盛り上げる活動に奔走する毎日。10月からは、JA

あいち中央や生産者と一緒にプロデュースした新商品「マイマイ米」が発売になります。

地方にも確かな魅力があるのに大都市に人もモノも集中します。僕はそれではつまらないと思う。日本デンマークと呼ばれたほどの安城の農業の魅力を消費者に伝え切れていないもどかしさと、地元の農作物を地元の人においしく食べてもらいたいという思い。これらに突き動かされて僕は活動を続けています。



高岸さんが手がけた作品

「わたしの望遠郷」「ほっとタイ夢」コーナーへの情報提供は、電話で秘書課広報広聴係(☎71)2202)へ。

市民のひろば

市民伝言板

サークル会員の募集やイベント情報を掲載するコーナーです

親子で参加できるワークショップ

「ことば」をテーマに親子で楽しめる会です。
時①9月4日(金) ②9月6日(日) いずれも午前10時～11時30分 場市民交流センター 対①→乳幼児親子 ②→園児・小学生親子
問牧令奈さん(☎090(4466)1324)

第2回花重陽の節句展

会員27人が7年をかけ心から慈しんで作った、山形県酒田市の傘福飾りと伊豆稲取の吊るしびなを発表。
時9月11日(金)～13日(日)午前9時～午後5時(13日は午後4時まで) 場市民ギャラリー
問杉浦弘子さん(☎77)7503)

第14回みちくさ写真展

日常生活、季節の風景、身近な被写体にレンズを向け、1年間撮り溜めた作品を展示します。
時9月15日(火)～20日(日)午前9時～午後5時(15日は午後1時から、20日は午後4時まで) 場市民ギャラリー
問岡田三千子さん(☎97)2357)

癒しの太極拳会員募集

気血の流れを良くし、体幹を鍛えます。初心者大歓迎です。一緒に楽しみましょう。
時毎月第2・4(火)午前10時～11時 場北部公民館
¥月額1000円
問原田紘一さん(☎090(2774)4740)

注意事項

- 掲載希望者は、掲載月の3カ月前の1日(出)日(例)の場合は、その翌開庁日)午前9時から電話で広報広聴係(☎71)2202)へ。各情報については、それぞれの問い合わせ先へ。
- ※掲載は先着順。ただし、過去に掲載していない団体を優先します。来年1月1日号分は10月1日(木)から受け付けます。掲載基準などの詳細は同係まで問い合わせてください。

第25回鷗鷺会書展

会員による漢字、仮名、刻字などの個性豊かな「書」作品を展示します。ぜひご高覧ください。
時9月11日(金)～13日(日)午前9時～午後5時(13日は午後4時まで) 場文化センター
問塚平啓造さん(☎76)0007)

第22回恋塚まつり

今年も市内福祉施設製品の販売や模擬店、抽選会を準備して、皆さまのご来場をお待ちしています。
時9月12日(土)午前10時30分～午後1時 場ぬくもりワークス(赤松町)
問ぬくもりワークス・岡田圭史さん(☎77)1555)

ミントクラブ会員募集

バドミントンで楽しく汗を流しましょう。初心者歓迎です。
時毎週(火)午前9時30分～正午 場北部公民館 ¥1回400円 対女性 持ラケット、室内シューズ
問鈴木希世美さん(☎090(7432)0827)

遊油会会員募集

昨年夏にスタートした、油絵を楽しみ遊ぶグループです。初心者も歓迎です。
時毎月第1・3(木)午後1時～3時30分 場作野公民館 ¥月額1500円
問酒井紀彦さん(☎97)0594)

人生相談英会話

新聞の人生相談コラムなどを読みながら、英語で話す仲間です。
時毎週(金)午前10時～11時30分 場作野公民館 ¥月額5000円
問千賀豊子さん(☎090(3559)6647)

時とき 場ところ 内内容 講講師 対対象 定定員・募集人員 持持ち物 ¥会費・入場料など 他その他 申申し込み方法など 問問い合わせ先

フォトでクイズ

エコプラス



油ヶ淵浄化デー

回 7月26日 場 東端町ほか

地域住民や市内企業から約1670人が参加し、ごみを拾いました。拾ったごみ量は590kg。親子連れの参加者も多く、子どもへの環境教育の場となっていました。



魚のつかみ取り

回 7月19日 場 デンパーク

水のステージに放流されたニジマスをつかみ取り体験。参加した子は「動きが早くて捕まえるのが難しかった」など楽しそうに話してくれました。



親子で木登り体験

回 8月2日 場 秋葉公園

3歳から小学生までの子ども10人が体験。「いつも男の子と木登りをして遊んでいるので、簡単だった」「登れて楽しかった」などの話が聞けました。

ここで問題です!

油ヶ淵浄化デー(左上の写真)では、地域住民や市内企業から約1670人が参加し、ごみを拾いました。拾ったごみ量は〇〇〇kgでした。さて、〇に入る数字3文字は何でしょう?(ヒントはこのページのどこかに記載)

クイズの正解者の中から抽選で5人に、記念品を差し上げます。

クイズの答え・住所・氏名・年齢・感想をはがき、またはEメール(表題を「フォトでクイズ回答」としてください)に記入し、9月24日(木)までに秘書課広報広聴係へ。(送付先詳細は裏表紙下部に記載しています)

8月1日号の答え:「環境」活動 ※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



安城市公開行政レビュー

回 7月25日 場 市民会館

行政評価委員4人と市民評価員20人が事業のあり方などについて市の担当課職員と議論。対象の7事業の判定は、「拡充が1件」「現行どおりが6件」でした。



スイカの種飛ばし大会

回 7月12日 場 マーメイドパレス

就学前の子から大人まで合わせて78人が参加。口からなかなか種を飛ばせない子や足元に落としてしまう子など悪戦苦闘しながらも、笑顔で頑張っていました。



中部環境先進5市サミット in 根羽

回 7月7日 場 長野県下伊那郡根羽村

環境政策を重視する中部地方5市(多治見・安城・新城・掛川・飯田)の市長が集結。各市長が環境に関する取り組みについて発表し、意見交換をしました。



流しそうめん体験

回 7月19日 場 デンパーク

安城特産の「和泉そうめん」を使った流しそうめん体験。参加者から「流れてくるそうめんを取るのが難しいけど、おいしかった」などの話が聞けました。



スイカ割り

回 7月11日 場 堀内公園

15人の子どもがスイカ割りを体験。「初めてスイカ割りに挑戦したけど、みんなが誘導してくれたおかげで上手に割れた」とうれしそうに話してくれました。